

西国巡礼慈悲の道

西国第八番 豊山 長谷寺

日本人の心のふる里に立つ観音さま

真言宗豊山派管長／化主 加藤精一

長谷寺に伝わる銅板法華

説相図（国宝）の下段に三

一九文字（漢文）の銘文が

打ち出されてあり、文章の

格調も高いし、字もまたし

っかりした立派な文字で長

谷寺の草創について述べて

ある。前半の部分はこの山

が古くから豊山と呼ばれて

いたことを示し、最後に、

（川原寺の高僧）道明が戊

歳の七月上旬に、八十人ほ

どの援助を得て飛鳥浄御原

の天皇のためにこの銅板を

造り奉る、と結んでいる。

これから推考すると、この

銅板がはじめて豊山の上に

祀られたのは西暦六八六年、

天武天皇の御代のことであ

る。では一体だれがこのた

くみな漢文をつくったのか、

だれが何のために願主にな

ったのかなど考えると、古

代へのロマンがかきたてら

れる。その後、堂塔が整備

され、開山の徳道上人は、

奈良時代、聖武天皇の勅を

奉じて像高十メートルを超

える観音像を造立した。

七三三年（天平五）行基が

開眼したと伝えられる。そ

の後何回かの火災にあった

がそのつど頭部のお顔の何

面かが残り、それらをまた

新しいお像の胎内に納めて

きているので、ご利益は創

建当時と少しも異ならない。

現在のお像は室町時代のも

ので、すでに五〇〇年がた

っている。

なお、徳道上人は西国三

十三番の霊場を組織した

功労者と仰がれている。

草創が六八六年とすれば、

奈良の大きいお寺とほぼ同

時代で、初代のお観音さま

ができたのも奈良の大仏さ

まと同時代である。長谷寺

は日本の最古のお寺の一つ

なのである。

それ以前から豊山は、飛鳥

平野の最も重要な聖地と

されていて、日本の祖神で

ある天照大神は、現在の伊

勢神宮に移る前は、長谷の山

上に祀られていたのである。

天照がまつられた場所に

さらにこのお寺が一五八八

年尊誉僧正の入山で真言

宗の寺院となり、弘法大師

の思想体系が加わり、さら

に三千数百という真言寺院

と数百万の檀信徒の祖山に

なったのである。

長谷寺は観音信仰のメツ

カであり、同時に大師信仰

のマンダラの寺であり、四

季に咲き乱れる桜、ぼたん、

あじさい、もみじなどにい

ろどられる花の寺なのであ

る。

西国第八番

豊山 はせでら
長谷寺

真言宗豊山派総本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／徳道上人

いくたびも まいるところは はつせでら

やまもちかいも ふかきたにがわ



◆浄財勸募のお願い

長谷寺では、文化財保全の
為に、観音経偈三十三万巻写
経の勧進を行っています。

●納経料 観音経偈文一卷

一 千円也

●写経作法等一式

一 千円也

●清書用紙(十枚一組)

一 千円也

「写経」の淨行をもって、文
化財の保全にご協賛を賜りた
く、心からお願ひ申し上げます。

主な年中行事

一月一日 本尊開帳法要 「万燈会」

一月一日～七日

仁王会・修正会

一月二十八日より

星祭り

二月三日

節分会

二月八日～十四日

修二会

二月十四日

だだおし法要

三月彼岸

春季彼岸会

四月下旬～五月上旬

ぼたん祭り

六月中旬～七月

あじさい祭り

九月彼岸

秋季彼岸会

十月上旬～十一月下旬

もみじ祭り

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬731-1

TEL 0744-47-7001(寺務所)・0744-47-7008(本堂)／FAX 0744-47-7711

http://www.hasedera.or.jp/

納経時間 4月1日～9月30日／午前8時30分～午後5時

10月1日～3月31日／午前9時～午後4時30分

仏教用語一口解説

南無とは

「南無観世音菩薩」など私たちは日常、「南無」ということばを耳にします。「南無」とはサンスクリット語のナムを漢字で音写したもので、帰依するという意味で、すべてを任すということです。例えば「南無観世音菩薩」は、観音様に帰依しますということで、このことばを祈りのことばとして、それを称えることによって、観音様の慈悲の心と私たちの心が一つに結び付きお救い下さるのです。